

基 調 講 演



テーマ：最近の災害に学び、次の災害に備える

講 師：山口大学大学院 理工学研究科 教授 三浦房紀

略 歴

- 昭和 49 年 3 月 山口大学工学部土木工学科 卒業
- 昭和 51 年 3 月 京都大学大学院工学研究科土木工学専攻 修了
- 昭和 51 年 4 月 京都大学防災研究所 助手
- 昭和 58 年 4 月 山口大学工学部 助教授
- 平成 4 年 6 月 山口大学工学部 教授
- 平成 18 年 4 月 山口大学大学院理工学研究科長・工学部長 (平成 22 年 3 月まで)
- 平成 22 年 5 月 インドネシア国立大学ウダヤナ大学客員教授

研究活動・著書他

専門分野：地震工学（基礎構造物の耐震解析、断層運動の解析）

防災工学（防災教育、防災情報システムの開発（高潮予測、河川水位予測、災害時一斉安否確認など）、衛星リモートセンシングを用いた災害解析、など）
学術論文約 170 編

著書等：耐震解析法、杭基礎の要求性能設計法など、共著、共訳、計 5 編

講演概要

最近発生した豪雨災害、地震災害の概要を紹介し、そこから学ぶべき教訓をのべる。さらに、山口県を中心にこれから発生する可能性のある地震災害、風水害を説明し、それらに備えるためにどのようなことをすべきか、事業継続計画（BCP）を中心に説明する。具体的な内容は以下の通り。

1. 平成 21 年、22 年山口県を襲った集中豪雨、土砂災害の概要、教訓。
2. 平成 23 年東日本大震災の概要、教訓。
3. 山口県の地震被害想定の説明、対策の紹介。
4. 事業継続計画（BCP）の内容説明と、中国地方整備局の取り組み。
5. 危機管理の一環としての BCP を含め、これからの災害多発時代を乗り越えるために今後どのような対策を考える必要があるか。